

イトアメンボ *Hydrometra albolineata* (Scott)

【選定理由】

かつては溜め池や河川に普通に見られたとされるが、1960年代以降急激に激減し、現在では全国的にも極めて稀な種となってしまった。人里近くに生息するため、人間活動の影響を受けやすい。

【形態】

イトアメンボ科の中では大型種で、体長は11~14mm。一般に♀の方が♂よりも大型である。体色は黒褐色で、♂の腹部第7節腹面には長毛を密生する。ヒメイトアメンボ *H. procera* Horváth や オキナワイトアメンボ *H. okinawana* Drake に一見似るが、明らかに大型で、触角第2節と第4節はほぼ等長である。

【分布の概要】

【県内の分布】

豊田市、名古屋市、犬山市などの記録があるが、多くは誤同定の可能性が高い。

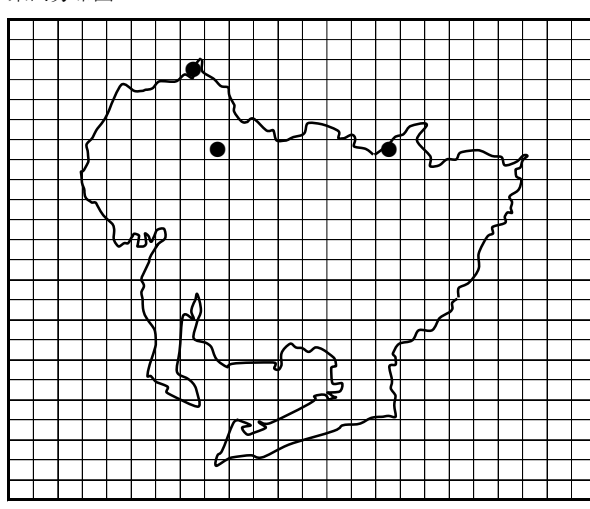
【国内の分布】

本州、隠岐、四国、九州、対馬、トカラ列島（中之島、宝島）、奄美大島。

【世界の分布】

中国、韓国、台湾。

県内分布図



【生息地の環境／生態的特性】

他県の生息地における観察からは、まばらに草の生える休耕田で、開放的な水面環境を好むようである。溜め池にも生息するが、古くから環境があまり変化せず、良好な水環境が維持されている場所に限られる（林, 2001）。灯火に飛来することがある。

【現在の生息状況／減少の要因】

現在知られる確実な産地は見いだしていない。農薬による水質悪化や水田、溜め池の埋め立てなどが減少の原因と考えられる。

【保全上の留意点】

休耕田や低湿地の保全であるが、宅地造成や乾田化のため難しい面がある。県内の分布状況もさらに詳しく調べる必要がある。

【特記事項】

ヒメイトアメンボのやや大型の♀個体を本種と誤認している場合が極めて多く、過去の記録に関しては標本の再確認が必要である（矢崎・石田, 2008）。

【引用文献】

- 林 正美, 2001. 最近のイトアメンボ採集記録. *Rostria*, (50): 51-53.
矢崎充彦・石田和男, 2008. 東海地方の水生半翅類. *佳香蝶*, 60 (234): 165-200.

【関連文献】

- 浅岡孝知, 1996. カメムシ目. 稲武町史—自然—資料編: 162-179. 稲武町.
浅岡孝知・家城 司, 1990. 愛知県の異翅目. 愛知県の昆虫, (上): 123-162. 愛知県.
宮本正一, 1960. イトアメンボは普通種でなくなっている. *Pulex*, (25): 99.

(2009年版を一部修正)